

# REPORT



## 医学生が自ら学ぶ環境整備

－ 腹部超音波検査手技を通じて －

東京大学 医学教育国際研究センター 医学教育学部門  
附属病院 クリニカルシミュレーションセンター

### 概要

当センターでは、医学生がシミュレータを活用した実技トレーニングを行うことにより診療能力を向上させることが可能になるような環境づくりを行ってきました。

今回、医学生が基本的な超音波検査手技を身につけることができるよう、新たに臨床実習専用のポータブル超音波装置を複数用意するとともに、“自主トレーニング”が可能な腹部 / FAST 超音波検査手技を学べる環境を整備しました

### 指導者の想い



江頭 正人 教授

医学教育学部門  
臨床実習・教育支援室 室長  
附属病院 クリニカルシミュレーションセンター センター長  
附属病院 総合研修センター センター長

当センターは、医学生が臨床手技を自由にトレーニングできるスペースを設けています。利用する学生からは能動的に活用できる場として好評です。

今回、医学科卒業までに腹部超音波検査手技を習得することを目標に、新たなトレーニングスペースを設けました。Hardwareとして腹部超音波検査手技トレーニングファントム、ポータブル超音波装置そしてタブレット、Softwareとして映像教材を採用しました。

医師の働き方改革が進むなか、映像教材を取り入れた自己学習可能な環境は、指導教員の負担軽減にもつながることを期待しています。



泉谷 昌志 講師

医学教育学部門  
附属病院 クリニカルシミュレーションセンター 副センター長  
附属病院 消化器内科

腹部超音波検査手技は、単独での学習方法や指導が統一されていないという課題があります。今回の環境整備では、医学生が単独で学習できる“しかけ”として映像教材を採用しました。

映像教材は腹部解剖とプローブ走査を視覚的に学ぶことができます。また YouTube でフリー公開されているため、学生が自由な時間に自ら学習できるという利点もあります。映像で学ぶことにより手技をイメージしやすく、腹部超音波検査手技を学習したいという意欲を増進させることにも寄与しています。



映像教材  
(QRコード)

腹部超音波検査手技トレーニングファントム  
(FAST手技対応)

タブレット  
(映像教材視聴用)

ポータブル超音波装置  
(教育用)

## 自主トレーニングが可能な環境

東京大学医学部附属病院臨床シミュレーションセンターでは、医療手技トレーニングをいつでも自学自習できる環境を整えています。シミュレータはすぐに活用できる状態にあり、手技別に配置されています。

学生や研修医が技術を新たに身につける時、再確認したい時、さらに習熟度を上げたい時などに、気軽に訪れることができる仕組みです。



- ☞ 探触子 (位置・角度) 走査の把握
- ☞ いつでもどこでも学習 (予習・復習)
- ☞ 段階的な学習 (ファントム・患者)



映像教材   
(YouTube 無料公開中)